



福岡教区 現勢報告 2024年 (2024年1月~12月)

Table with columns: 教会名, 在籍信徒数 (男, 女, 合計), 居所不明者, 死亡, 洗礼 (幼児, 成人), ミサ参加者数 (主日, 復活祭, 降誕祭, 外国語ミサ).

◆ フランシスコ教皇 追悼ミサ ◆



微笑む遺影が飾られた追悼ミサ 微笑む遺影が飾られた追悼ミサ

それまで連日続いた20度を超える暑さが影をひそめ、その日は午後からよく晴れた。追悼ミサは暖かく、そしてやさしかった。

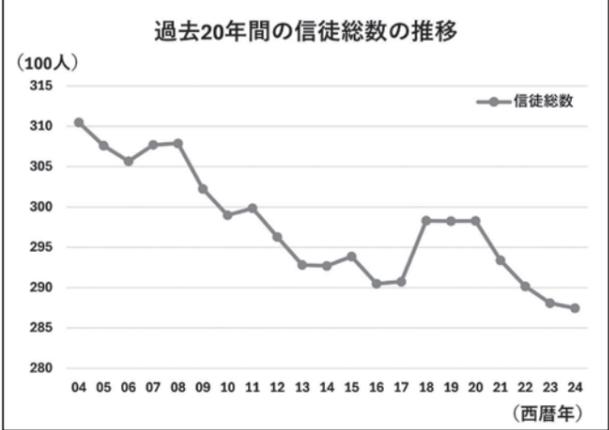
世界中が悲しみのうちに喪に服す中、4月25日夜7時からカテドラル大名町教会においてフランシスコ教皇の追悼ミサが執り行われ、司教と25人の司祭とともに3階席にまで溢れた300人を超える信徒が、御父の元に帰った教皇のた

め、祈りを捧げた。祭壇の前には一脚の簡素な円形のテーブルが置かれ、その上にバラなどの白い花に囲まれて微笑む教皇の近影が飾られている。このミサが普段とは異なる特別なものであることを告げていた。

◆ 改革を試みていた教皇でした ◆

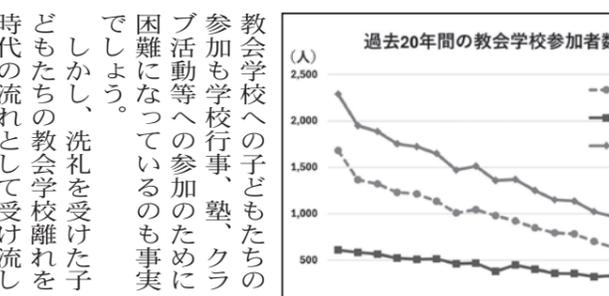
改革を試みていた教皇でした。神様が私たちに何を求めているかというのを深く考えて、確信を持ってその改革を進めてこられました。どうぞ教会へ来てくだささい、あなたの求めていることはイエス様と与えられますよということ、みなさんに分かるいろいろな形で語られたのです。そして世界においては、勇気と希望をもって人間の尊厳と平和を訴え続けてこられた方です。非暴力、対話、和解などの必要性を訴え続け、核兵器を無くすだけでなく、『持つ』ということだけで倫理に反するということ、何を言われようとも耐え続け、訴えてきたのです。

ミサの最後、アペイヤ司教と司祭たちによる献花の後、静かに花をたむける信徒の列が長く続いた。

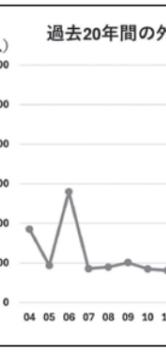


2024年 福岡教区現勢報告 少子化から読み解く教会の未来

少子化が叫ばれるようになって久しいですが、少子化が向かうところは人口減少社会です。これは教会にとっても同じ現実です。通常、人口は緩やかな自然増につながりますが、少子化のために減少の一途をたどっています。福岡教区もこの20年間信徒数の減少に歯止めをかけることができない状況です。



教会学校への子どもたちの参加も学校行事、塾、クラブ活動等への参加のために困難になっているのも事実でしょう。しかし、洗礼を受けた子どもたちの教会学校離れを時代の流れとして受け流してよいのでしょうか。信仰教育は、教会学校がすべてを担うのではなく、家庭における信仰の伝達が基本であり、子どもたちの教会学校離れが進むことに過敏に



サンパウロ 福岡宣教センター 営業時間: 10:00~18:00 定休日: 日曜日・祝日

不動産全般/売買・賃貸・管理 なんでもお問い合わせください (株)ジャパン・スマイルか

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 R.C工事 株式会社 森山工務店

カトリックの教会葬 共に祈り・共に送る 株式会社 みこころ舎

青年たちの熱い一日

乙女峠まつり 5月3日、「カタラント主催日帰りツアー「乙女峠まつり」として、司祭や高校生等を含む25人で島根県の津和野町で行われた「乙女峠まつり」に参列した。



殉教者へ想いを寄せた「乙女峠まつり」

「乙女峠まつり」は、津和野町で殉教したキリシタンたちに捧げられ、毎年5月3日に行われている。1867年から始まった浦上四番崩れで津和野に流された信徒たち153人は、江戸時代以上とも言われる拷問にも屈せず信仰を貫き、37人が殉教した。「乙女峠まつり」に参列し、過酷な状況の中でも自身の信仰を守り証した人々を知り、思いを寄せる機会になれば、と思い準備をした。

当日の朝、津和野町にはさまざまな教区から多くの人が集まっていた。開会式の後、津和野カトリック教会から約2キロ離れた乙女峠への聖母行列に続いて街を歩き山道を登り、野外ミサにあずかった。参加者からは、「島根県津和野町は初めて訪れたが、長崎以外で殉教した人のことはあまり知らなかったの、カトリックの歴史を知ることができてよかった」「(聖母行列中)道沿いの家やお店から信者ではない人も出てきてお辞儀してくれるのを見て、地域の人から歓迎され、尊重されていると感じ嬉しかった」という声があった。

この企画の実施には、数えきれない支えがあった。投げ出したくなる瞬間もあったが、そのたびに仲間や家族からの応援やサポート、出会いによって助けられ、乙女峠までたどり着いた。かつて、改宗を迫られた方々も家族や仲間の支えを通して神様を感じ、信じる強さにしたのではないかと思う。その強さは、お互いを支えあえる希望であり、そこには神様の大きな愛を感じる。彼らの苦難は計り知れないが、少し思いを共にできたような気がする。この思いを忘れず、今後も信仰の道を歩みたい。

大名町教会 荒牧結花

WYD (ワールドユースデー 世界青年大会) の十字架



十字架を担いで行列に参加する青年たち

今回の行事では、初めて青年の皆さんと朝の準備から参加し、実際の十字架を見た。初めて見たとき、この十字架が世界を回りたくさんの方々の願いが込められながら旅をしているのだなと感じ、まさにこの十字架と出会えたことは運命だったのだろうと思った。

私は幼少期から教会には行っていたが、洗礼を受けたのは最近で、青年会とは全く無縁だった。洗礼を受けてから、カタラントなどの活動に少しずつ参加させてもらっていた。私も含め、今の若い世代は宗教というものに興味や関心がない方が多いという印象がある。しかし今回の活動で福岡以外の青年の方と初めて交流したことで、同じカトリックの青年がたくさんいることにすごく喜びと新鮮さを感じた。

ミサが始まる前、十字架を各教区の皆さんと聖歌を歌いながら実際に担いで行く中で、イエス様のゴルゴタの地までの歩みを思い出した。十字架はイエス様の苦しみと犠牲、そして復活は救いの希望と神様の愛の証しを意味している。それに加えて個人の祈りや願いが込められていることを感じ、一層重さを感じた。

私は、今回のミサに参加できたこと、そして青年と交流できたことへの喜びの声をたくさんの方々から聞くことができた。この活動を通して、一人ひとりの希望や願いを世界中に届けられるような人になっていきたいと改めて思った。これからも青年会の活動を通して、さまざまな形でたくさんの方々と分かち合いなどもしていきたい。

老司教会 岩元佳奈



法要で祈りを捧げる下町神父(左)と青木神父(右)

4月13日、福岡県田川郡香春町の浄土宗光願寺において踏絵で受難したキリシタンの法要が行われた。江戸時代の初めには3000人のキリシタンがいたとき、1829年に行われた宗門改めの踏絵みでは、踏まず者2078人と記された小笠原小倉藩の古文書が残っている。しかし、この寺は、1945年9月の台風による山崩れで10人近くの住民と共に土砂に埋もれ、残念ながら寺の踏絵や記載のもととなった古文書

キリシタン法要

この日は、御復活後の「神のいつくしみの主日」に当たり、殉教者に相応しい恵みの時となった。式典では、最初に小笠原玄也一家15名の殉教の史実が厳

粛に朗読された。続いて、しづかの黙想の後、肅々と御ミサが捧げられた。アペイヤ司教はこのミサの中で殉教者たちの信仰に触れ、本日の御言葉を通して皆の心を殉教者の心の中に招き入れるため、使徒トマスへの御言葉を一句一句強調された。トマスに言われた「信じない者でなく信じる者になりなさい」「見ないで信じる人は、幸いである」この主の御言葉は、参列者の心を殉教者への信仰へと招くものとなったであろう。その後、15名の殉教者の一人ひとりの名を記した十字架が、参列した信徒によって、それぞれ祭壇中央に奉納された。

この殉教祭に参列した熊本のある信徒は、「潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産への登録は日本の歴史上負の遺産と呼ばれていますが私は決してそう考えたくはありません。これは神への信仰によって支えられた殉教者たちの、ひどい迫害を行った権力者たちへの『赦しの遺産』であると信じたいのです」と感想を述べた。

島崎教会 高木光行



殉教者の十字架の前にミサを行う司教(中央)と司祭団

熊本 花岡山殉教祭

この殉教祭に参列した熊本のある信徒は、「潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産への登録は日本の歴史上負の遺産と呼ばれていますが私は決してそう考えたくはありません。これは神への信仰によって支えられた殉教者たちの、ひどい迫害を行った権力者たちへの『赦しの遺産』であると信じたいのです」と感想を述べた。

このたび、光願寺が開山記念のキリシタン法要を行うことから、カトリック教会に参加の要請があった。光願寺の御堂で、町の歴史家による田川地域の潜伏キリシタンの講演があり、この地に残るデイエゴ加賀山単人の墓と伝えられている祠や、細川忠興が寄進したというマリア観音像などが紹介され、キリスト教禁止令の下、加賀山単人を筆頭に、その後も踏絵が行われ、迫害を受けた者も多くいたのではとの話を聞いた。

続いて、浄土宗によるキリシタン法要。そして北九州地区長の下町豊重神父(行橋・豊津教会主任)、青木悟神父(小倉教会主任)による祈りが捧げられた。禁教令の時代に小倉の地で処刑されたデイエゴ加賀山単人や信者が、信仰を生きた証しとし、キリスト者として生きる喜びを噛みしめた祈りが、私たちの心の中に届いたと感じた。ヨハネによる福音「私は復活であり、命である。私を信じる者は、だれも決して死ぬことはない」。このイエスの名により、命をかけたキリシタンの人々を偲び、宗派を超えて法要ができた。

田川教会 丸田宏幸

静寂の中に語られる、イエスの愛のささやき。本書は、あるベネディクト会修道士が聖体礼拝の中で受けた、主イエスと聖母マリアからの神秘的な啓示と霊的な経験を目撃形式で綴った感動の記録です。愛に飢えた魂に、イエス自身が語りかけるその言葉は、まるで心臓の鼓動のように私たちに包み、癒やし、立ち上げさせます。イエスは今も、あなたを待っています。その声に耳を傾けるための、優しい導きがここにあります。サンパウロ社発行 税込価格4400円



☆イエスの胸もとでー心が心に話しかける時ーある司祭の祈りの日記 オカロール・ハリイ(監修) ジョーンソン伸子(訳)

Advertisement for 'Dorosan' (ド・ロさま) spaghetti, featuring a QR code and contact information for the company.

Advertisement for St. Mary's Hospital (聖マリア病院) and St. Mary's Health Center (聖マリアヘルスケアセンター), including address and phone numbers.

Advertisement for the 30th anniversary of the九州Daluk (九州ダルク) forum, featuring a photo of a speaker and contact information for the organizing NPO.

「QRコード」という名称はデンソーウェーブの登録商標です。

### 年間目標 互いに支え合う 交わりの教会となる

8月11日(月・祝) 福岡教区主催「2025 平和を祈る集い」  
テーマ：戦後80年 平和への誓いを新たに

今年も「平和を祈る集い」では、「平和」をテーマに絵・俳句・川柳・短歌を募集いたします。作品は当日、大名町教会講堂もしくはロビーに掲示します。(応募締め切り 2025年7月31日)

【応募先】  
①郵送 〒810-0028 福岡市中央区浄水通 6-28 教区本部事務局「平和を祈る集い 作品受付窓口」  
②Eメール cdf-kouhou@nifty.com 送信時件名「平和を祈る集い 作品応募」

### 福岡教区ハンドブック 2025 発行

「福岡教区ハンドブック 2025」は、各小教区でお受け取りの上、ご活用ください。また、スマホやPC用に、PDFによる配布も行なっています。詳細は各小教区にお知らせを配布しておりますので、ご覧の上お申し付けください。

### 宣教養成委員会主催 自分と愛する人のために 考え、準備し、実践すること

【日 時】6月毎火曜日 10時～11時30分  
【場 所】カテドラル大名町教会 1階講堂  
参加費無料、関心のある方はどなたでも。  
※詳細は右記 QR コードからご確認ください。

### JLMM (日本カトリックミッションナリームーブメント) カンボジア派遣 一時帰国活動紹介

教区報2023年8月号で紹介した、久留米教会の中島愛さんによる、活動報告が行われます。  
【日 時】6月15日(日) 9時ミサ後  
【場 所】カトリック久留米教会・聖堂  
【日 時】6月22日(日) 15時～17時  
【場 所】福岡教区青年センターカタラント (カテドラル大名町教会1階)  
※参加費無料、事前申込不要。

### 第42回 福岡地区カトリック女性の会 総会

【日 時】6月21日(土) 13時～16時  
【場 所】カテドラル大名町教会 大聖堂  
【内 容】総会・感謝ミサ  
主司式：ヨゼフ・アベイヤ司教  
共同司式：レナト・フィリピーニ神父 (福岡地区カトリック女性の会担当司祭)  
【申込み・問合せ】〆切 6月15日(日) ※当日参加も大歓迎！各教会の女性の会委員にお尋ねください。

### 第86回 福岡典礼聖歌研修会

【日 時】6月22日(日) 14時～16時  
【場 所】カトリック浄水通教会  
【内 容】「ミサ中の歌について」  
【講師】深堀 純氏 ※参加費：感謝献金  
【問合せ先】☎ 092・541・3730 松山 ※典礼聖歌集持参

### 召命を共に祈る会

福岡地区 6月17日(火) 13時30分～ 大名町教会  
〔問合せ先〕☎092・921・4532 山口  
北九州地区 6月14日(土) 14時～ 小倉教会  
〔問合せ先〕☎0949・24・9905 藤井  
熊本地区 6月19日(木) 9時30分～ 健軍教会  
〔問合せ先〕☎096・369・8896 松上

### 各種団体の定例会

詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報6月号」、または右記 QR コードからご確認ください。

福岡教区広報室アドレス  
https://fukuoka.catholic.jp  
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

## 案内板 会合と催し 6月のこよみ

### 福岡教区創立 100 周年に向けて かつどう・できごと掲示板

「シノドス的」な教会の歩みを推し進めましょう！

2027年7月16日まで あと 25 ヶ月

スタンプを押した久留米教会のページ  
— 8つの巡礼指定教会 —  
カテドラルの聖年の扉が開きました。希望の巡礼を始めませんか。スタンプノートも忘れずに。  
その3. カトリック久留米教会  
西鉄久留米駅を降りて徒歩約10分のところにあります。「至聖なるイエスのみこころ」に奉げられた教会です。

### 真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：希望の巡礼者  
日 時：6月12日(木) 10時～15時  
内 容：「希望」と愛の業  
希望は神の愛の業によって現れる  
次 回：7月10日(木)  
内 容：「希望」と祈り 希望は祈りによって養われる  
※2025年から、指導はチームで行われます。  
問い合わせ先：真命山諸宗教対話センター  
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186  
熊本県玉名郡和水町疇浦1391-7  
E-mail shinmeizan@gmail.com  
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

- 【6月】  
1日(日) 主の昇天 黒崎教会・堅信式  
3日(火) (宗法)幼稚園理事会(決算)  
4日(水) 司祭評議会(大名町)  
5日(木) 常任司教委員会(zoom)  
8日(日) 聖霊降臨の主日 天神町教会・堅信式  
集会祭儀司会者養成講座(大名町)  
9日(月) 教区司祭黙想会(旧カトリック神学院 ～13日)  
11日(水) カトリック学校教職員研修会(熊本)  
14日(土) 聖心のウルスラ修道会終生誓願式  
15日(日) 聖霊降臨の主日 佐賀地区信徒研修会(佐賀教会)  
16日(月) 司教総会(東京～20日)  
21日(土) 福岡地区女性の会・総会 ミサ主司式(大名町)  
22日(日) キリストの聖体  
23日(日) 沖縄慰霊の日(沖縄)  
24日(火) 洗礼者聖ヨハネの誕生  
経済問題評議会 教区司教顧問会(決算)  
兵頭俊介助祭の司祭叙階式(愛媛・松山教会)  
28日(土) 聖ペトロ 聖パウロ使徒  
29日(日) 年間第13主日 聖ペトロ使徒座への献金  
飯塚教会司牧訪問 福岡教区宣教科評議会(大名町)  
仙台教区の司祭研修会(仙台)  
【7月】  
1日(火) 聖ペトロ岐部と187殉教者  
2日(水) 奉獻生活についての研修会(東京神学校)  
5日(土) 聖公会・九州教区主教授手式への参加(福岡)  
6日(日) 年間第14主日 湯川教会司牧訪問

※福岡教区で奉仕された司祭の帰天日は右記 QRコード、または教区ホームページのカレンダーでご確認ください。

集いの詳細は、各問合せ先にお尋ねください。  
■美野島司牧センター  
○ホームレスの方に温かい食事と衣類  
○ホームレスの方に温かい食  
毎週火曜日10時  
調理 第2・4金曜日  
夜回り 21時  
路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日14時  
【問合せ先】☎092・431・1419 D.ジョンソン神父

大濠カトリック会館・宣教養成センター  
○ミリアサロン大濠  
第1・第3水曜日10時  
【問合せ先】☎092・753・6765 角田  
○みことばのお弁当  
第4木曜日10時  
【問合せ先】☎092・753・6765 大濠カトリック会館  
■宣教養成委員会「黙想と祈りの集い」テゼの歌と共に  
【日時】6月26日(木) 19時30分～約1時間(場所)大名町教会小聖堂(問合せ先)

お詫びと訂正  
教区報5月号(第796号)3面「知りたい！福岡教区の修道会・宣教会、シャルトル聖パウロ修道女会」  
×1920年(明治43年)  
○1909年(明治42年)  
謹んでお詫び申し上げます。訂正いたします。

編集後記  
先月の後記で紹介した、私はカトリック、キリスト教徒ではありません。幼少時

### Doa mengubah segalanya (祈りはすべてを変える) Koga Oktarieny (古賀 オクタリエニー) (Indonesia)

Tidak ada seorang pun yang dapat menghentikan kuasa Tuhan dlm hidup kita. Aku yang lahir dan besar dalam didikan keluarga katolik tidak pernah berpikir untuk menikah dengan orang asing dan berbeda kepercayaan. Karena beda keyakinan pernikahan kami hanya sah secara hukum negara, padahal aku bercita cita utk menikah dan menerima sakramen perkawinan di gereja. Sedih dan kecewa tentu sudah pasti tapi aku percaya akan rencana Tuhan yang pasti selalu lebih indah dibanding kekecewaan kita. Setelah menikah aku menetap di jepang mengikuti suami. Seperti yang tertulis dalam Kitab Yosua 1:9 "Bukankah telah Kuperintahkan kepadamu:kuatkan dan teguhkanlah hatimu? Janganlah kecut dan tawar hati,sebab Tuhan,Allahmu menyertai engkau,ke mana pun engkau pergi". Ya aku percaya Tuhan selalu menyertaiku meskipun berbeda keyakinan dengan suami tidak membuatku berhenti berdoa dan membuat tanda salib setiap sebelum memulai semua aktivitas ataupun pergi meninggalkan rumah. Suamiku juga tidak keberatan saat putriku dibaptis dan aku mendidiknya secara katolik. Putriku di baptis di Indonesia karena saat itu aku masih belum menemukan Gereja Katolik di daerah tempat kami tinggal. Karena bagi orang jepang, agama Katolik adalah agama Kristen (Protestan). Setelah mencari dan bertanya akhirnya kami menemukan Gereja Katolik mekipun jaraknya sangat jauh dari daerah tempat kami tinggal (33km sekitar 1 jam perjalanan). Akupun minta suamiku mengantar ke gereja yang ada di daerah Kurume untuk melihat jadwal hari dan jam misa.



古賀さんが通っていたインドネシアの教会

Malam Natal kami sekeluarga pergi mengikuti misa Malam Natal untuk pertama kalinya di gereja. Senang, bahagia juga rasa haru bercampur jadi satu. Akhirnya aku bisa kembali mengikuti misa dan bertemu dengan saudara seiman yang lain. Setelah mengikuti misa malam natal, aku langsung mencari Romo paroki untuk mendaftarkan putriku sekolah minggu sebagai persiapan menerima komuni I.(...continued)

全文と日本語訳は右記から→ Full text and Japanese translation available via QR code

2025年 第2回 ポスコキャンプ in 野尻湖  
対象：カトリック信者ならびにキリスト教に関心のある中高生男子  
期間：2025年8月9日(土)～8月12日(火)  
場所：〒389-1312 長野県上水内郡信濃町大字富濃字宮沢3940  
サレジオ高専野尻湖山荘 TEL 026-258-3925  
主な内容：自然の中で祈りの体験、若者と共に捧げるミサ、ロザリオ、よくわかる 聖書学習、みんなの疑問に答えるQ&A、水泳、ポート、演芸大会他  
問合せ先：調布サレジオ神学院 武井 アントニオ 神父 詳細は右記QRコードからご覧ください  
〒182-0033 東京都調布市富士見町3-21-12  
TEL: 042-482-3117 FAX: 042-489-7645 e-mail: dbjpyouth@gmail.com

福岡教区セクハラ対応窓口  
セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談  
セクシュアル・ハラスメント相談窓口  
電話 080-2694-4182  
受付時間 月～金 (祝日を除く) 10:00～12:00 13:00～16:00